

# 平成21年度事業報告書

自 平成 21 年 1 月 7 日  
至 平成 21 年 8 月 31 日

一般財団法人 信賴資本財団

平成 21 年度 一般財団法人信託資本財団 事業報告

目次	ページ
I. 法人登記、公益法人認定	2
II 事業内容	
1. 融資事業(公益目的事業1)	2
2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)	2
3. 社会デザイン事業(収益事業1)	2-3
4. 社会企業家育成事業(収益事業2)	3-4
5. その他	4
III. 評議員会、理事会	4-5
IV. メディア掲載	5
V. 管理部門	5
VI. 会計報告	5

## I. 法人登記、公益法人認定

平成 21 年 1 月 7 日に一般財団法人として「信託資本一般財団法人」が設立・登記された。その後平成 21 年 3 月 18 日に公益法人化対応として法人名称を「一般財団法人信託資本財団」へ改称。

その後平成 21 年 3 月 29 日付で内閣府へ公益認定申請を行い、内閣府との交渉、提出書類の修正を経て、同年 9 月 1 日を目途に内閣府より公益法人としての認定を受け、「公益財団法人信託資本財団」となる予定。

## II. 事業

### 1. 融資事業(公益目的事業1)

融資事業は、公益認定を受けることで「貸金業法」の対象外での事業運営を行うことが可能となるため、具体的な進捗はない。しかし、公益認定を受け次第事業開始準備を進め、融資条件等の設定、関連する諸規程の整備等を行う予定。来年度早々の融資募集開始を見込んでいる。

### 2. 知恵・知見の蓄積事業(信託資本蓄積事業)(公益目的事業2)

#### (1) 社会起業家マップ開設

平成 21 年 6 月に財団ホームページを開設し、「社会起業家マップ」にて財団の事業に共感する社会起業家の紹介を開始した(現在登録・公開 3 件)。

ただし、依頼内容の作業量の多さなどから依頼先からの回収率が悪化し、新規依頼を中断。

### 3. 社会デザイン事業(収益事業1)

#### (1) ポスドクネットワーク構築

当面の収益事業として、社会的事業調査・研究業務を行政や企業から受託する体制を整えることを目的とし、現在就職難が社会問題となり、高い能力を活かせないでいるポスドクター(以下:「ポスドク」という)に着目し、彼らとのネットワーク(ポスドクネットワーク)構築を試みた。ポスドクネットワークの目的は、財団が行政や企業から受託する専門性の高い調査、基礎研究業務の業務委託先の確保の他に、良質な知恵・知見を持つ人材とのネットワーク構築により、財団のヒューマンキャピタル(人間関係資本)の量及び質の向上に資することを目的とした。

#### ■実施内容

ポスドクネットワーク構築の実現可能性に関する調査を実施(平成 21 年 4 月)。

①東京大学、京都大学大学院生を中心に組織されている任意団体「いきいき研究室増産プロジェクト」との意見交換。

②横浜国立大学ベンチャービジネスラボラトリー(VBL) を訪問し意見交換。

■調査結果と今後について

今回の調査の結果、次の 3 つの軸でポストクネットワークの構築と財団事業への組み入れが可能であると考える。

①ポストクアントレプレナーに対する融資

従来の学内 VB は技術リッチが生み出すビジネスを志向していたが、今は社会的事業を生み出す方向にシフトしてきているので、当財団の融資先となる可能性がある。⇒融資による無形資産および人間関係資本の獲得

②財団データベース上にポストクが自らの専門性を発揮できるような場を設定し(Solver チームに組み入れる等)、彼ら自身が社会的ニーズに気付くような機会を提供。ポストクは自分の持つ専門性を提供、信頼を蓄積することで自身のキャリアパスを構築する機会を得る(ポストクの社会的事業領域への進出を促す)。

③契約形態および時間的にアルバイトが可能なポストクならびに博士課程学生を相手に専門的知識、技術を要するアルバイトを斡旋する。ただし、今後の課題は委託業務の精度管理とマッチングである。

⇒本件については、まずは理事などからご紹介いただく企業などから業務を受託し、横浜大学 VBL などに所属するポストクならびに博士課程学生に紹介する形でスタートさせる予定であったが、諸事情があり、計画中断中。

4. 社会企業家育成事業(収益事業2)

(1)信頼資本トークセッション

財団の事業に関係する様々な分野のゲストを招き行うトークセッションイベントを6月より開始し8月現在までで合計2回のイベントを実施した。本イベントは、会場の聴衆だけでなく、セッション状況をインターネット技術を使い、ライブで配信することで、Webを通して誰もがリアルタイムにセッションに参加し、議論に加わることができる創発型トークセッションとして設計した。

また、イベント終了後もイベントの映像(YouTube経由)とテキストを財団ホームページ上に掲載、公開することで過去のイベントをいつでも見られるようにした。

◆実績

①第一回信頼資本トークセッション 実施日程:2009年6月29日

『おカネが変われば世界が変わるーそして今、信頼資本へー』

田中優氏(未来バンク事業組合)、熊野英介(アマタ株式会社)

【会場参加者:14名、ネット参加者(イベント閲覧者):約40名】

②第二回信頼資本トークセッション 実施日程:2009年8月17日

『介護はプロに家族には愛を』

石川治江氏(NPO法人ケア・センターやわらぎ)、田中優氏(未来バンク事業組合)

【会場参加者:6名、ネット参加者(イベント閲覧者):約395名】

## 5. その他

### (1) 信託資本研究会

信託資本の理論構築を目的として定期的に勉強会を計画、本年度は1回開催した。

#### ◆実績

①第一回信託資本研究会 開催日:平成21年6月24日

講師:下原 勝憲氏(同志社大学) サポーター:柴田有三氏

財団参加者:今井、古在、熊野、石川、岡田、田中、名越、川並、鴨崎

講師に下原氏をお招きし、同氏の「関係性をデザインする」(論文)をベースに、財団メンバーと議論を行った。

## Ⅲ. 評議員会、理事会

当年度は8月末現在、評議員会2回、理事会3回、臨時理事会2回を行った。

### ■評議員会

①第一回評議員会(第一回全体会議として実施)

・開催日時:2009年1月14日(水) 16:00~18:00

・出席者:今井賢一氏、古在豊樹氏、野村彰男氏

◆主な議案:財団事業方針および平成21年度事業計画について

②第二回評議員会(第二回全体会議として実施)

・開催日時:2009年3月10日(水) 15:10~17:30

・出席者:今井賢一氏、古在豊樹氏、野村彰男氏

◆主な議案:公益認定申請へ向けた定款変更について

### ■理事会

①第一回理事会(第一回全体会議として実施)

・開催日時:2009年1月14日(水) 16:00~18:00

・出席者:難波菊次郎氏、名越秀夫氏、若林拓朗氏、田中 優氏、岡田 純氏、熊野英介氏、石井友二氏(監事)、川並和子氏、鴨崎貴泰(書記)

◆主な議案:財団事業方針および平成21年度事業計画について

②第二回理事会(第二回全体会議として実施)

## 平成 21 年度事業報告

- ・開催日時:2009年3月10日(水) 15:10~17:30
- ・出席者:熊野英介氏、名越秀夫氏、若林拓朗氏、田中 優氏、石井友二氏(監事)、川並和子氏(顧問)、鴨崎貴泰(書記)
- ◆主な議案:財団の志、運営方針について

### ③第三回理事会

- ・開催日時:2009年6月24日(水) 13:00~14:30
- ・出席者:熊野英介氏、石川治江氏、岡田 純氏、田中 優氏、名越秀夫氏、川並和子氏(顧問)、鴨崎貴泰(書記)
- ◆主な議案:内規作成について(セキュリティポリシー、個人情報管理について)

### ■臨時理事会

#### ①第一回臨時理事会

- ・開催日時:2009年2月12日(水) 13:00~18:00
- ・出席者:熊野英介氏、難波菊次郎氏、名越秀夫氏、若林拓朗氏、田中 優氏、川並和子氏、鴨崎貴泰(書記)
- ◆主な議案:財団の志、運営方針について

#### ②第二回臨時理事会

- ・開催日時:2009年3月10日(水) 13:00~15:00
- ・出席者:熊野英介氏、名越秀夫氏、若林拓朗氏、田中 優氏、川並和子氏、鴨崎貴泰(書記)
- ◆主な議案:事業内容詳細について

## IV. メディア掲載

特になし

## V. 管理部門

(1)業務執行体制の変更(理事の変更)

- ・理事難波菊次郎氏が平成21年4月14日に死去したことに伴い退任(平成21年6月8日登記)。
- ・新理事として石川治江氏が平成21年6月4日就任(平成21年6月8日登記)

## VI. 会計報告

会計報告内容は、別紙「法人法で定める計算書類等」の通りである。

以上